

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

# 夢・感動通信

熟議=みんなで描く未来の姿～

No.9



「コミュニティ・スクールは、地域と学校がパートナーになって学校を運営していく仕組みです。パートナーは、同じゴールを目指してこそ協力し合うことができます。」  
 地域、学校、家庭がそれぞれに別のゴールを目指しているから、協働体制は生まれません。「コミュニティ・スクールの肝は、関係者がゴールを共有して行動すること。そのために有効な手段が「熟議」です。」  
 「熟議」とは、関係者が集まって、熟慮（じつくり考へること）と議論（お互いの意見を述べ合うこと）を重ねることです。「学校が抱える課題は何か」「地域の子どものどう育ってほしいか」などを出し合って意見交流し、解決すべき課題や目指すべき目標を確認していきます。その過程で、関係者一人ひとりが教育に関する当事者意識を高めていくことが期待されています。」  
 各校の学校運営協議会では、この手法を用いて活発な意見交流を行い、校長先生が作成する学校運営の基本方針に反映させていきます。地域住民、教職員、保護者を代表する委員の皆さんが、それぞれの立場で考えたことを出し合い、取り組むべき課題と目指すべき

▼問合せ 生涯学習課生涯学習係 ☎(72)6923



②意見をまとめて発表し、全体で共有する



①小グループになって参加者全員が意見を出し合う

未来の姿を思い描く。「これにより、それぞれの立場で何ができるかを考えることができ、教育の役割分担が可能になります。」  
 写真は、「町の子どもたちはどう育ってほしいか」をテーマに、教職員、保護者、地域住民が一堂に会し熟議を行った時の様子です。

人気の焼き菓子やケーキは常時数種類並びます



廃材を利用したテーブルや椅子、手作り感とぬくもりで溢れた店内



地元農家「豊稗庵」さんの有機野菜やお米を使ったヘルシーランチ



至国道4号線

**カフェ・焼き菓子 蓄**  
 ☎080-6006-4544  
 日・月定休12:00~17:00  
 @ yakigashitentubomi  
 WEBメディアNaSuMoに掲載中

のどかな牧草地帯、要所要所に設けられた手作りの看板を頼りに車を走らせると、どこか懐かしい民家のようなお店「カフェ蓄」にたどり着きます。「自然に身を任せながら、いろいろな人の繋がりでこの店が成り立っています」と話すのは佐久間文利さん。空き家を自ら改装し、店内はできるだけ手作りのモノで肩肘張らない家庭的な雰囲気やイメージしたそうです。妻の里子さんお手製のスリッパやコースターたちも温かくお出迎え。「せっかくカフェに來られているのだから、ゆっくりして

ぜいたくな時間ですね。」  
 お菓子作りの勉強と経験を積んだ里子さんの焼き菓子も好評で、その他地元の野菜をふんだんに使ったランチ、手作りシロップのジンジャール等も味わえます。心のごもつたご夫婦のおもてなしと那須の恵みたっぷりのお料理、心地よい那須高原の風とともにのんびり過ごすのも

那須のいろいろなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

## ほっとひと息



オーナーご夫妻 佐久間文利さん(右)里子さん(左) 愛犬のカイちゃん♪